

機構への提出物

(1) 研修手帳

- ・ 2018 年度研修開始者：2018 年度研修手帳、または、2019 年度版研修手帳（暫定印刷版）のいずれかを選択
- ・ 2019 年度研修開始者：オンライン研修手帳 J-GOAL（2019 年度版研修手帳（暫定印刷版）に記録したものは、専攻医自身が J-GOAL へ移行する）
- ・ 2020 年度以降の研修開始者：オンライン研修手帳 J-GOAL

(2) 経験省察研修録

- ・ 2018 年版研修手帳を使用する場合：詳細事例 20 項目 + 簡易事例 20 項目
- ・ 2019 年度版研修手帳（暫定印刷版）を使用する場合：経験省察研修録にはタイプ A とタイプ B があるので、いずれか一方を選択。タイプ A は、詳細事例 14 項目 + 簡易事例 11 項目。タイプ B は、資質・能力の 7 項目それぞれについて所定の書式を用いて記載
- ・ オンライン研修手帳 J-GOAL：タイプ B のみ（2019 年度研修開始の専攻医のために仕様上はタイプ A がアップロードできるようになっているが受理しない）

(3) **総合診療版 J-OSLER**：40 症例の簡易事例 + 10 症例の詳細事例、技術技能評価および専攻医の全体評価（多職種評価含む）

(4) **総合診療専門研修プログラムを修了したことを証明する書類**：プログラム管理委員会での審査を経て、プログラム統括責任者名で発行された機構指定の様式を用いた証明書。証明書の発行日は、専門医試験申請書の提出期限日同日あるいは期限日よりも前の日付であること。この書類には、研修履歴も記載する。

(5) 学会発表、論文発表を証明する書類について

学会発表は抄録集の表紙と専攻医の発表演題のページのコピーを提出する。

論文発表は論文のコピー（オンラインでの提出なら PDF）またはアクセプトを証明するメールを提出する。

(6) 教育研修修了実績（医療安全、医療倫理、感染対策など）

a. 医療安全、医療倫理、感染対策などの講習会等を受講したことがわかる書類として、以下を提出する。

- ・ 各医療機関・団体が発行する証明書（受講時期と受講者名のわかるもの）

ただし、各医療機関・団体が発行する証明書がない場合は、別掲する様式例を参考とした各医療機関・団体による証明書を提出すること。

b. 講習会等は、3年間（4年プログラムでは4年間）で医療安全、医療倫理、感染対策の3つをそれぞれ1回以上、受講すること。各医療機関で実施している講習会やさまざまな学会や団体が実施している講習会やe-ラーニングでの受講も認められる。

（7）履歴書

医学部卒業以降の学歴、職歴、研修歴等を記載すること。書式は任意とするが、写真付きのものであること。写真は、カラー、モノクロいずれも可とするが、機構への提出期限日から3ヶ月以内に撮影したものに限り、写真データを履歴書に貼り付けること。写真サイズは、たて600ピクセル×よこ450ピクセルとする。

提出方法：2018年度研修開始者は別途、ご案内します。2019年度以降の研修開始者は、J-GOALへのアップロードを予定しています。総合診療版J-OSLER：40症例の簡易事例+10症例の詳細事例および技術技能評価については、総合診療版J-OSLERのシステム上での提出となり、紙媒体やPDFでのアップロードは不要です。